

令和 7 年度 学校教育アンケートのまとめについて

早春の候、保護者の皆さまにはお元気でお過ごしのことと存じます。平素は本校教育活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、先日実施いたしました学校教育アンケートにおいて、308 件のご回答をいただきました。ご回答いただきました保護者のみなさまのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

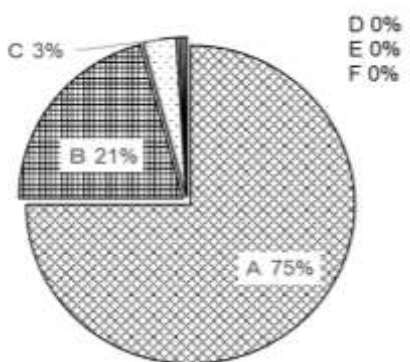
つきましては、アンケートの集計が整いましたので、結果をお知らせいたします。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、来年度の本校の取組みにいかしてまいりたいと考えております。今後も、学校教育や児童の指導等でお気づきの点がございましたら、学校までお知らせいただけますと幸いです。ご理解ご協力賜りますようよろしくお願いいたします。

集計結果は、以下のように示しております。なお、四捨五入のため、合計が 100%にならない場合があります。

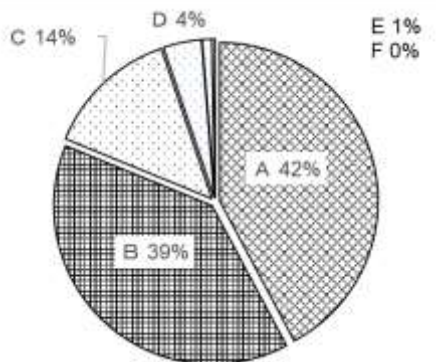
A.: と思う B.: だいたいと思う C.: あまりそう思わない D.: そう思わない E.: わからない F.: 無回答

(1) 家庭教育に関すること

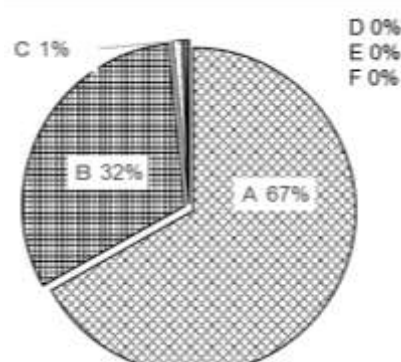
1. 子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている。



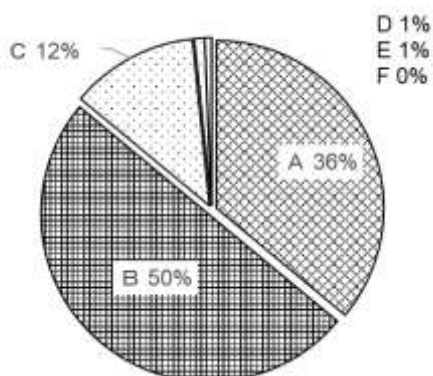
2. 子どもに家庭学習の習慣をつけさせている。



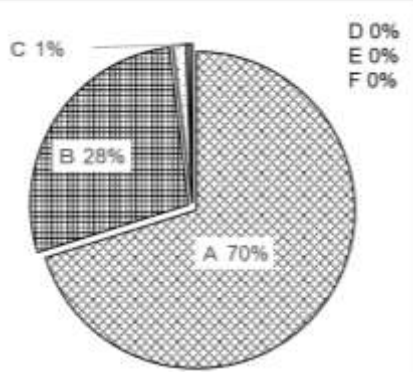
3. 家庭では、子どもとの会話を大切にしている。



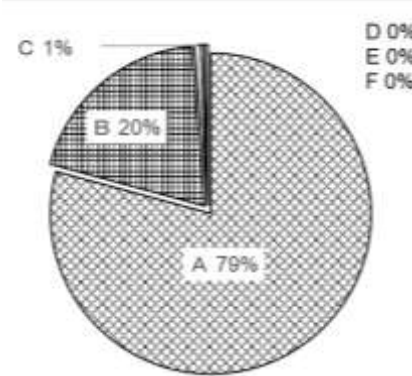
4. 家庭では、子どもにお手伝いをさせている。



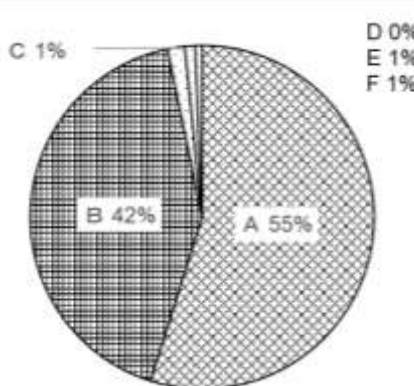
5. 家庭では、子どもに生命を大切にする心を育てようとしている。



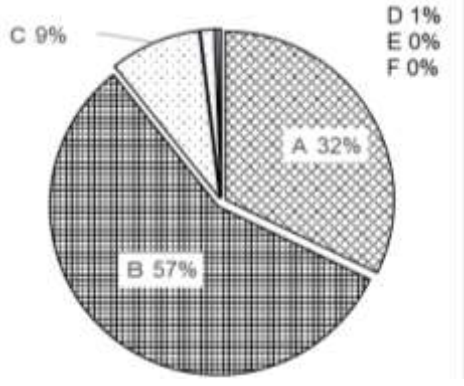
6. 家庭では、子どもに自分や友だちを大切にする心を育てようとしている。



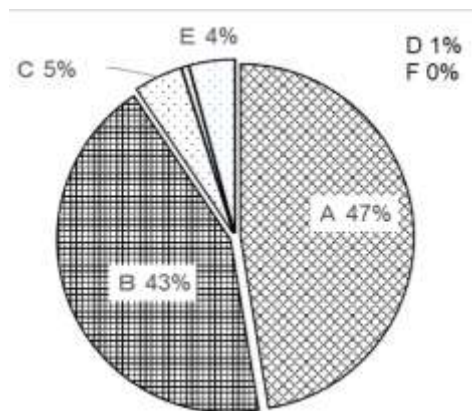
7. 家庭では、子どもに社会のルールを年齢に応じて教えている。



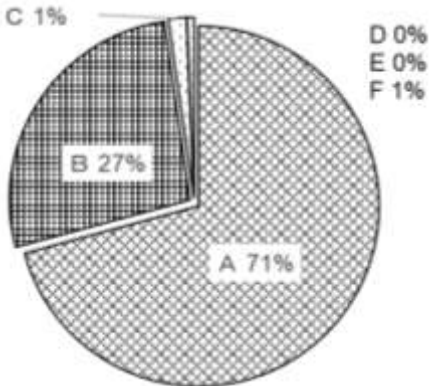
8. 学校からの文書や事務連絡などをよく読んでいる。



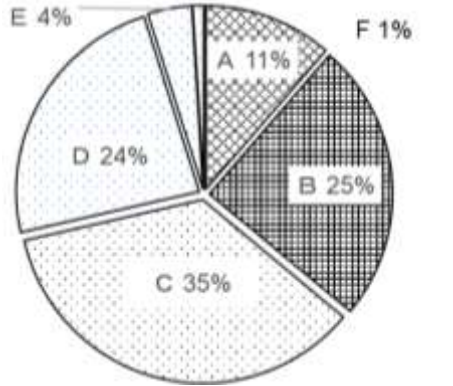
9. 家庭では、ネットや SNS 利用について注意している。



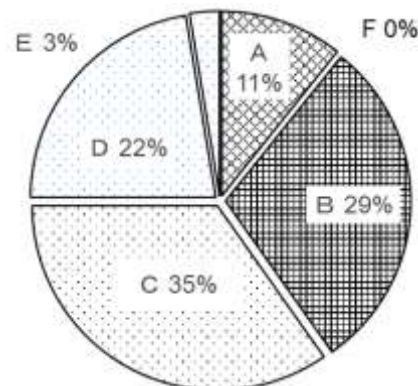
10. 家庭では食事・歯磨き・睡眠の生活習慣を身に着けさせている。



11. PTA 活動に積極的に参加している。



12. 他の保護者の方々と話す機会を多く持っている。



●家庭教育についてのアンケート結果より●

『1.子どもに家庭や近所であいさつをするように教えている』…【A:そう思う】R6:67% → R7:75%

肯定的回答(AとBの合計)は、昨年とほぼ変わりませんが、「A:そう思う」と回答した割合が非常に高くなっていました。学校としても元気にあいさつができることはとても大切と考えています。あいさつをしてもらえたまわりの人だけでなく、あいさつをした自分も気持ちよくなります。地域の見守り隊の方々に元気にあいさつできることで、お互い気持ちよくなり、それが子どもたちの安全を守っていこうという地域の意識にもつながります。子どもたちがあいさつの大切さを感じ、友だちや先生、おうちの方や地域の方にも心を込めてあいさつができるようになってほしいと願っています。

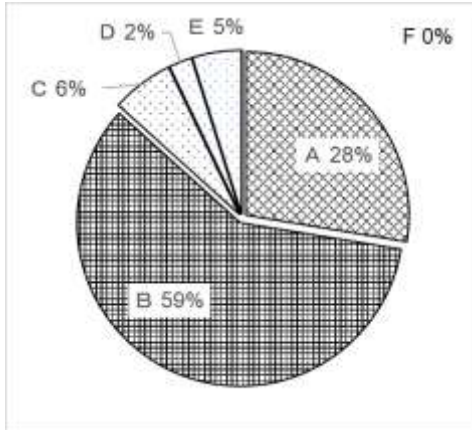
『12.他の保護者の方々と話をする機会を持っている』…【肯定的回答】R6:47% → R7:40%

PTA活動に関する2項目のうち、PTA活動の参加についての回答は昨年度とほぼかわらないものの、保護者の方々と話をする機会における肯定的回答は低くなっていました。ただ、「A:そう思う」と回答した割合は、9%から11%とわずかに増えており、この点に関しては、PTA役員のみなさまを中心とした、PTAがつながる活動をたくさん実施してくださっているおかげと考えています。お忙しいご家庭がたくさんあるとは思いますが、PTA活動に参加する保護者の方からは、「参観以外でも学校に来ることがあり、学校の様子がよりよくわかる。また、PTA活動の作業を通じて、保護者同士いろいろなことを話せることがうれしい」という声も聞きます。

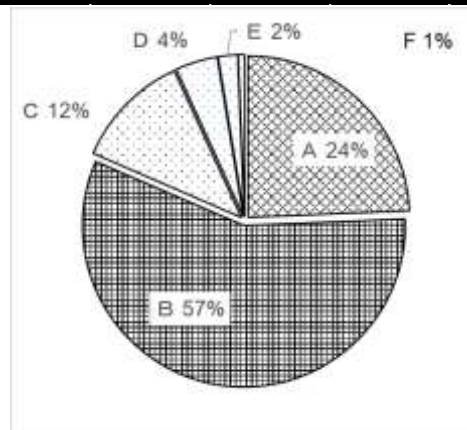
家庭教育活動(PTA活動を含む)や地域行事が活発な地域で育つ子どもは、自主的・自発的に異なる世代の人々とふれあえる場があり、子どもたちは、社会性や豊かな人間性を育てていくと言われます。PTA活動だけでなく、校門開放で子どもの様子を見に来たり、地域の健全育成会が主催したもちつき大会のお手伝いに参加したりというちょっとした協力により、地域と保護者が一体となることで、子どもたちの育ちにつながります。

(2) 学校教育に関すること

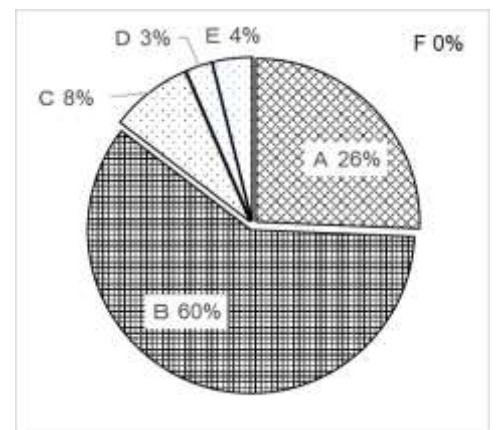
1. 学校は、保護者・地域との連携を大切にしている。



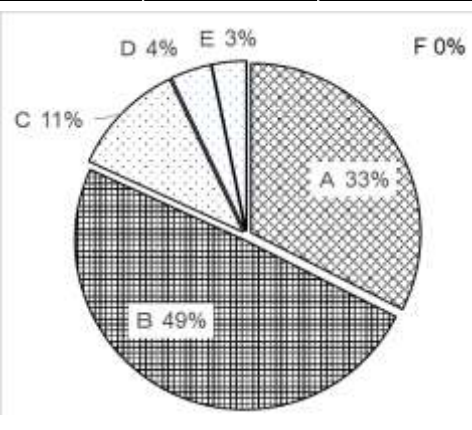
2. 学校は、教育活動や学校での子どもの様子について伝えている。



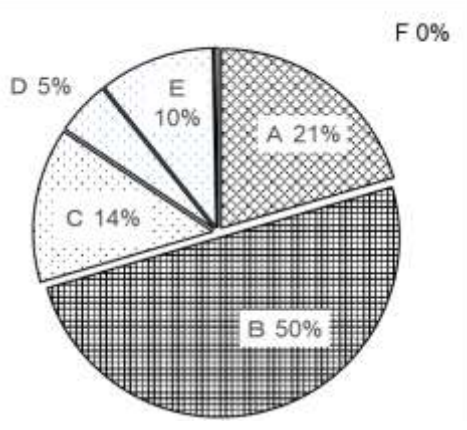
3. 学校は、子どもの能力や努力を適切に評価している。



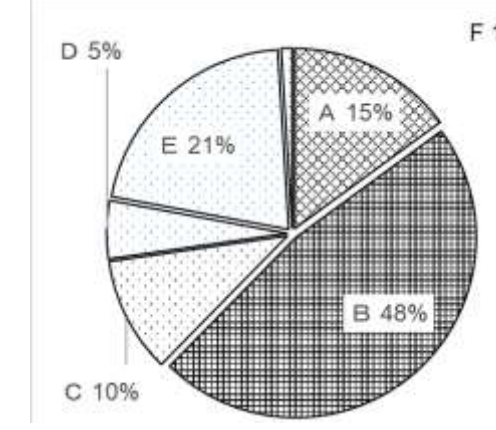
4. 学校に、子どものことについての相談ができる。



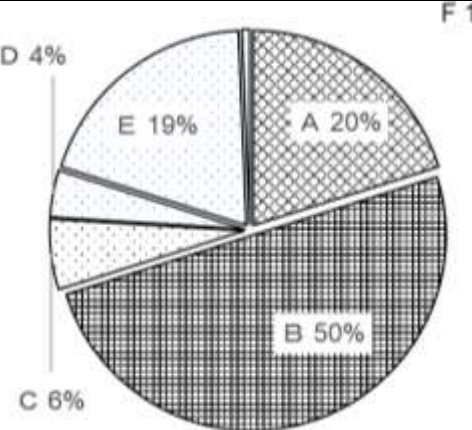
5. 学校は、子どもの不正な言動には厳しく指導している。



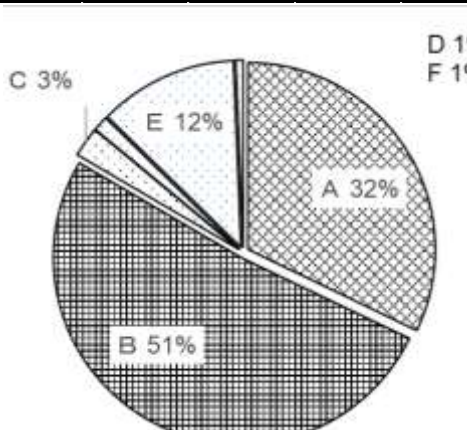
6. 学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。



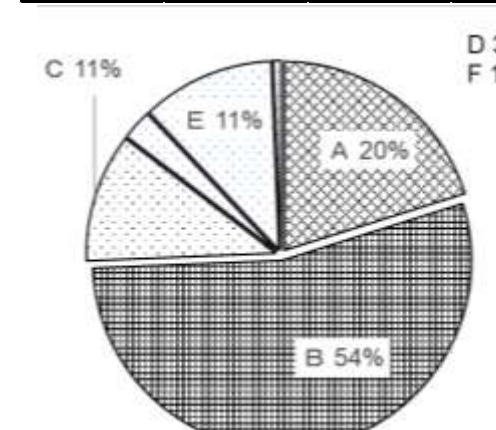
7. 学校は、学年に応じて、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。



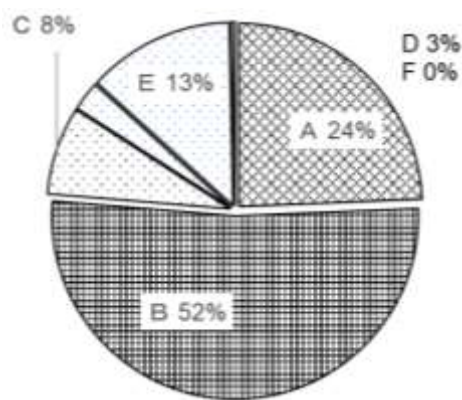
8. 学校は、地震・火災・台風・不審者などに対する危機管理を適切に行っている。



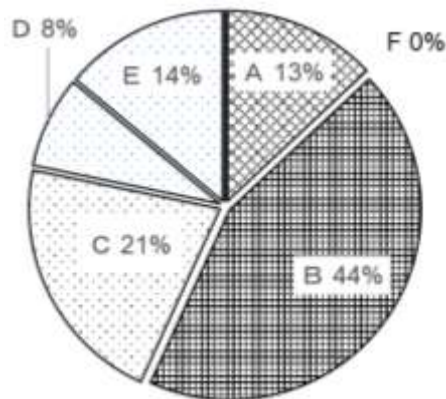
9. 学校は、登下校時の安全についての指導をしている。



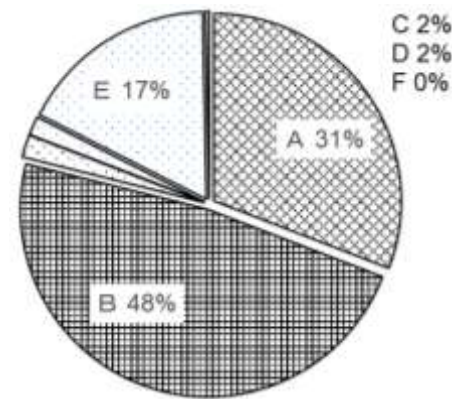
10. 学校は、食事の重要性や食文化など食に関する指導に取り組んでいる。



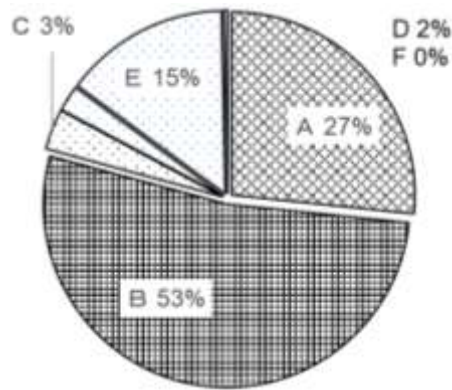
11. 学校は、英語教育に積極的に取り組んでいる。



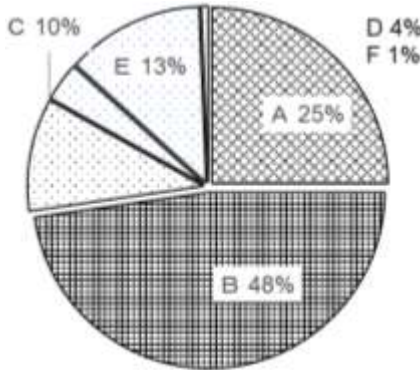
12. 学校は、児童の個人情報適切に管理している。



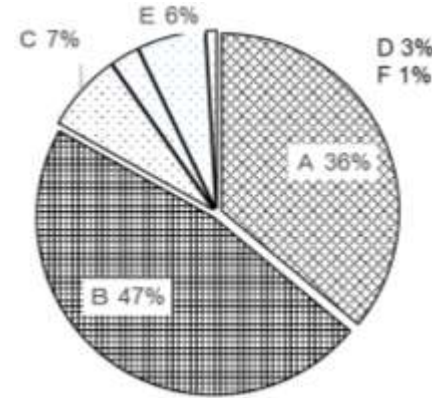
13. 学校は、保健教育・保健管理に適切に取り組んでいる。



14. 学校は、ICT 機器を活用し学習を効果的にしたり、学びの保障に役立ったりしている。



15. 学校は、テトルやHPを活用し情報提供に努めている。



●学校教育についてのアンケート結果より●

『5. 不正な言動には厳しく指導している』…【否定的回答】R6:17% → R7:19%

『6. 学校はいじめのない学校づくりに取り組んでいる』…【否定的回答】R6:12% → R7:15%

昨年度より否定的回答の割合が増えました。自由記述欄にも不正な言動やいじめに対して厳しく指導してほしいという意見がありました。学校では「いじめは絶対にあってはならないが、起こりうるものなので、子どもたちの様子を注視してできるだけ早い対応を心がけていく。」と意識し指導にあたっています。教員アンケートの結果からもその意識に変わりはありません。具体的には、いじめやいじめが疑われる事象が起こった際には、被害を受けた児童に対して事実確認を行うとともに、本人の心の安定に努めます。加害を与えた児童に対しては、事実確認を行った後、教育的配慮のもと、毅然とした姿勢で粘り強い指導や支援を行っていきます。保護者の協力のもと、必要に応じてスクールカウンセラーや関係機関（警察や少年サポートセンター、子ども家庭センター等）とも連携しながら、具体的に何が悪かったのかを理解させ、前へ進んでいけるような指導を行いながら再発防止に向けて取り組んでいます。しかしながら、子どもの人格はまだ未だ未完成です。些細なことで、時にはうまく言葉が出ず、蹴ったりたたいたりすることもあり、それが友だちを深く傷つけてしまうことがあります。今後も繰り返し繰り返し、粘り強く指導を続けていくつもりです。発達支持的生徒指導の観点から、縦割り活動といった学校行事においても、相手の気持ちを考え、思いやりの気持ちを大切にしたい取り組みも行っています。

これからも学級担任だけで対応するのではなく、学年や学校全体で情報を共有し、組織として迅速に対応することを心がけ、いじめのない学校づくりにむけて取り組んでいきます。

『15. 学校は、テトルやホームページを活用し、保護者に対する情報提供やアンケート集約が効果的になるよう努めている』

…【肯定的回答】R6:88% → R7:83%

若干ですが、肯定的回答の割合が減っています。特に、「A:そう思う」の回答が昨年と比べ7%減少していました。自由記述においてももっと活用してもらいたいという意見がいくつかありました。今年度も、学校だよりを中心に、フォームを使ったアンケートや各種申し込みの回収においてテトルを活用しています。学校としては、テトルを多用することで、重要な情報が埋もれてしまう危険性を一番危惧しております。一方で、データ配信にすることで、単に紙を削減できるだけでなく、カラーで確認できたり、外出先でもスマホがあれば確認できたりするといった良さも理解しています。来年度に向けて、下校時刻を月末の25日前後にホームページに掲載することを計画していますが、2学期ごろには、下校時刻表を紙配布ではなくテトルでの送信を試み、保護者のみなさまのご意見もふまえたいと考えています。いずれにせよ、保護者のみなさまの元に確実に届く情報提供となるよう努めてまいります。

お忙しい中、アンケートに丁寧にご回答いただき、ありがとうございました。ほぼすべての項目において、肯定的な回答や否定的な回答の割合が、令和6年度のアンケート結果と比べ、5%未満の変化であり、学校での取り組みに一定のご理解をいただいていることに感謝申し上げます。自由記述欄にも、多くのご意見をいただきました。

この結果について、職員だけでなく、学校運営協議会においても、変化が比較的大きい項目や、全体的に高い（低い）割合となっている項目について議論を交わしました。今後も学校と家庭と地域がいっしょになり、子どもたちの健全な未来を支援していきたいと考えています。

アンケート結果及びいただいたご意見を謙虚に受け止め、来年度も「だれもが元気になるみんなの学校」をめざし、教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、長野小学校の子どもたちのために、どうぞよろしくお願いいたします。

